

福祉とアートが出会うとき

～ 地域の協働事例から考える明日への一歩 ～

「もっと表現の機会を作りたい」「もっと多くの人に紹介したい」
でも
「なかなか取り組めない」

そんな、利用者の皆さんのセンスにキラリと光るものを感じている支援者の方へ。

今回、横須賀市障害福祉課と横須賀美術館は、(公財) かながわ国際交流財団の協力のもと、福祉とアートの現場で先駆的な活動を行っている NPO 法人エイブル・アート・ジャパンから講師として柴崎由美子さんをお招きし、レクチャー&意見交換会を開催します。

前半のレクチャーでは、障害者による表現活動の意義、文化施設と連携した活動例、生産活動にアートの視点を取り入れた例をお話しいたします。
後半の意見交換会では、参加者同士で課題などを出し合い、講師よりアドバイスをいただきます。

障害のある人と日頃から関わっている皆さんが、
やってみたいと思っていたことを実践するにはどうしたら良いのか、
アートをきっかけに何ができるのかを一緒に考える機会にしたいと思います。

<主催> 横須賀市福祉部障害福祉課、横須賀美術館、(公財) かながわ国際交流財団

<講師プロフィール>



柴崎由美子(しばさき・ゆみこ)

NPO 法人エイブル・アート・ジャパン代表理事。

東北芸術工科大学芸術学科芸術学コース卒業。1997 年よりたんぼぼの家でアートセンター HANA、エイブルアート・カンパニーの設立・運営などに従事。障害のある人と共に芸術文化活動による新しい社会実践をすることがライフワーク。2013 年より現職。

エイブル・アート・ジャパン 法人本部/東京事務局 <http://www.ableart.org/>
エイブル・アート・ジャパン 東北事務局 <http://soup.ableart.org/>
エイブルアート・カンパニー <http://www.ableartcom.jp/>

MULPA レクチャー&意見交換会
「福祉とアートが会うとき ～地域の協働事例から考える明日への一歩～」

日 時：平成 31 年 2 月 13 日（水）
17:30～20:00（レクチャー／17：30～18：30 意見交換会／18：30～20：00）

場 所：横須賀美術館ワークショップ室（横須賀市鴨居 4 - 1）<http://www.yokosuka-moa.jp>

対 象：福祉施設や作業所の職員でアートやデザインに興味のある方、絵画などの創作活動に関わっている方、生産活動にアートの視点を取り入れて見たい方など

定 員：25 名 ※下記参加申込書を FAX、もしくは E メールに必要事項を記載して提出
※申込が定員に達した場合は抽選となります

締 切：平成 31 年 2 月 3 日（日）必着

参加費：無料 ※ただし、お車で来場された場合は駐車場料金が発生します

お問い合わせ先：申し込みについて →横須賀市福祉部障害福祉課 TEL:046-822-9837
内容とアクセス、料金について →横須賀美術館 TEL:046-845-1212

MULPA(マルパ)とは？



（公財）かながわ国際交流財団のよびかけで、神奈川県内の 4 つの美術館の館長・学芸員と芸術祭連携団体の実行委員等が集まり、立ちあげられたアートプロジェクト。

MULPA とは Museum UnLearning Program for All の頭文字を取った略称で、日本語では「みんなで“まなびほぐす”美術館—社会を包む教育普及事業—」としています。マルパは定住外国人や障害のある方々を含む「すべての地域住民」の、美術館へのアクセスを目的として、地域の美術館が芸術祭や大学と連携して包摂的な教育普及事業を検討・展開していきます。

MULPAレクチャー&意見交換会参加申込書（平成31年2月3日(日)必着）

横須賀市福祉部 障害福祉課就労支援係 浦野あて

FAX 046-825-6040 Eメール hp-hw@city.yokosuka.kanagawa.jp

※Eメールでのお申込は下記事項を必ず本文に記載し、タイトルを【2/13レクチャー&意見交換会申込】としてください。

※同一所属で複数の参加希望者がある場合は、氏名欄に複数名を記入してください。

フリガナ氏名			
所属			
所属先電話番号	所属先	F A X	
所属先Eメール	@		
参加理由	表現活動支援について、気になっていること、やってみたいこと、お悩みなどをお書き添えください。		